

## 令和4年度 第1回美浜町総合教育会議 会議録

開催日 令和4年6月17日（金） 午後1時00分～3時00分

場 所 美浜町保健センター 小会議室

出席者 美浜町長 齋藤宏一

委員 大岩絵里子教育長職務代理者

石垣由貴子委員

神谷英明委員

天木恵次委員

齋藤正吉委員

伊藤守教育長

（欠席：新美達己委員）

職員 夏目勉教育部長

近藤淳広学校教育課長

山本圭介生涯学習課長

竹内稔博指導主事

開会 午後1時00分

### 1 齋藤宏一町長あいさつ

- ・ 新型コロナやウクライナなど大変な時代である。海外を見ると日本はよい国である。私は小学校時代に終戦を迎えた。今こうして町長として仕事できることは、ご縁や運命を感じる。
- ・ 今日には様々なご意見をいただきながら、よい形で学校再編・小中一貫校を進めていきたい。
- ・ 子どもたちが立派に育つかそうでないかは、先生や家庭・保護者によるところが大きい。学校教育と家庭教育の大切さを感じる。
- ・ 自分が勉強に向かうきっかけは、小学校6年生の担任だった。6年の担任は

いい先生だった。初めて勉強して受けたテストに 100 点を付けてくれた。「勉強すれば 100 点取れる」と勉強する楽しみを感じることができた。

- ・農業高校でもよい先生に出会えた。厳しいけれどいい先生だった。いい先生が人生を決める。将来の小中一貫校にもいい先生に来ていただきたい。それは教育長の仕事。いい先生に来てもらえるようないい学校を作りたい。
- ・小中一貫校を早くやりたい。何がなんでも令和 10 年につくるようにみんなで力を合わせて進めていきたい。
- ・学校の場所は、東部の町民も西部の町民もだれもが納得する場所に作りたい。

## 2 議題

### 町長・新教育長対談 ～美浜の教育について～

教育委員：小中一貫校の開校を、令和 10 年と言っていただけで心強い。私たちもしっかり取り組んでいく。跡地利用について町長のお考えを教えてください。

町長：河和南部小学校跡地に、企業が来ていただけることはありがたい。医療関係のカテーテルを作っている企業や自動車の自動運転関係、医療関係、インプラント関係など、広げていくことも考えている。

教育委員：小中一貫校の令和 10 年に開校の見通しを教えてください。

町長：優先順位の問題。第 2 町民グラウンドは今後売却する予定である。

教育委員：場所については、複数の候補地をあげてみなさんの納得したもので決めていく、ということでしょうか。

町長：みんなが納得する場所がよい。

教育委員：場所さえ決まって町の方針が決まると、いっそう推進すると思う。

町長：土地は今、購入しやすいと思う。

教育委員：場所は、来年度には決まりますか。

町長：決めたい。

町長：広域農道を使えば日本福祉大学ともアクセスがよい。広域農道に側道をつくりたい。小中学校の通学を安全にするために。側道は、児童生徒の通学だけではなく、トレーニングやサイクリングにも使える。

教育委員：利用する人たちがシャワーを浴びたり、お金を使ってくれたりするとよい。美浜の地域資源を使っていきたい。

町長：美浜は素晴らしいものがある。例えば海岸。奥田海岸から野間海岸、遠浅で 4 キロも建物が無い。こんな場所はほかにはない。

教育委員：小中一貫校建設に向けてのスケジュールはどう考えているか。

町長：まずは一日も早く場所を決める。

教育長：場所が決まるとできることが多くある。ソフト面で考えると、今は小中学校が7校ある。美浜町としての要望は、よい教員に来てもらいたいということ。人事面の整備は、場所が決まってから逆算して計画していく必要がある。また、教育課程も考えていかないといけない。

町長：建物は木造がよいと思う。でも今、材木は高くなっている。町の庁舎は築40年で雨漏りをしている。木でできた自宅は100年以上たってもよい状態である。木材はよい面が多くある。うまく使ってやれないか。

教育委員：木の校舎はいいと思う。

町長：木造で2階建てがよいと考えている。

教育委員：美浜の教育について。小学1年生から英語をやっている。耳がともよい。美浜の教育の特色の一つになっている。

教育長：英語特例校など、申請すれば可能。小中一貫校に合わせてやっていきたい。

町長：美浜の保育所にも英語教育を入れたい。近隣市町の保育園には、外国人の先生が入っているところがある。いろいろな機会を使って取り組んでいくとよい。保護者のニーズもある。

教育委員：一度、町長にも小学校の英語の授業を見に行ってみてほしい。

町長：先日、英語の授業の動画を見たが、びっくりした。美浜の子は幸せだと思う。ぜひ、機会を作って見に行きたい。

町長：日本の伝統的な良さを忘れずに、ということも大事にしたい。「自然との共生」が2005年の愛知万博のテーマであった。本町の理念と同じであり現在もつながっている。日本の心の教育はたいしたものだと思う。教えていることの基本は変わらない。

教育委員：子供の人口は減っている。いかに減る速度を遅くするか、そして人口を増やす施策も必要である。子どもを育てる上での不安があると思うが、美浜町になにか対策はあるのだろうか。若い人を呼んでくる施策はないか。

町長：地域の資源を活かした教育のまちおこし。

教育長：教育環境は十分まちの魅力の一つになる。

町長：学校のまわりは恵まれた土地がある。子どもたち、自然農業体験、海の

体験ができる。そうすれば他地域や外国からも人がくる。魅力ある学校を造り、美浜町の特徴を生かすしかない。

教育委員：学校跡地の活用。入っていただく企業が雇用を生む。町民の働く場所ができる。

町長：そのとおりである。魅力あるいい学校を造り、学校跡地を有効に活用し、いい企業に来ていただけるように進めていきたい。

### **3 伊藤教育長あいさつ**

教育長：本日はありがとうございました。町長から心強い言葉もいただきました。特色ある教育の充実が、魅力あるまちづくりにもつながっていく。

町民の皆様の協力、理解をいただきながら、しっかりと進めていきたい。

以 上

閉会 午後3時00分